

3年 | 白井 和香子 さん [広島県立世羅高等学校 出身]

鳥取のお気に入り

合言葉は「足湯に行こう！」
三朝・浜村・東郷など、鳥取には温泉がいっぱい！友達に「今日は何する？」と声をかけると、返ってくる答えは必ず「足湯！」(笑)。気軽にいけるし、疲れがとれてスゴく気持ちいいですよ。



記述も論述も「まとめ方」がポイント

保育士と幼稚園教諭、両方の資格が取得できる大学を探していたところ、担任の先生が鳥大の地域教育を見つけてくれました。しかもAO入試があると知り、人と話すのが得意な私は「自分の強みを生かせる」とチャンスを感じて受験を決意。でも、文章を書くのは苦手で、入学志願票の作成には大苦戦。アピールしたいことを箇条書きにして文章構成を決め、それに肉付けしていく形でなんとか完成させました。1次面接の練習では、①質問に対して現状を語る、②自分の気持ちや体験を入れる、③明るい未来につながるようにまとめる、の3段階を意識。先生のアドバイスで流れるよい発言ができるようになりました。

無理にこじつけず、素直な自己表現を

2次選考の口頭発表は小論文とリンク。自分の書いた文章を図で示し、プレゼンするという方式。面白い図が書けなかった上、「なぜその矢印がそちらの方向を向いているのか分からない」と突っ込まれて焦りました。でも、私の考えを丁寧に説明。無理なこじつけはダメですが、自分なりの意見をきちんと述べること、間違えたと思ったときは素直に訂正する勇気が必要だと思います。グループディスカッションは対策本を熟読。教育系の討論では言い合いは厳禁、テーマから逸れないように意見を述べるのがポイントですね。大学では講義や実習のほか、託児のアルバイト、少年自然の家で指導員の補助をするなど、夢を叶えるためにスキルアップ中です！

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：4人

【趣旨】学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成をめざしています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多角的に総合評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
- 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人
- 大学での学習を通じて自己の価値観を築き上げようとする人

平成25年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

全体を通して求める力

地域教育のキーパーソンとしての確かな基礎学力が必要とされることは言うまでもありませんが、その上に、柔軟で創造的な思考力、発言力のある人が望ましいと考えます。

※第2次選考では、第1次選考の評価を加えることなく、第2次選考の評価結果のみを採用しました。提出書類は主に個人面接試験時において、質疑応答を進める参考資料として用いました。

小論文、 口頭発表 (1日目)	小論文は120分。「子ども権利条約」の英文和訳課題を出題しました。また、それに関連するエッセイを読んで、子どもの権利について多面的に論述する課題としました。 口頭発表は、小論文を踏まえて自己の考えを述べるとともに、質疑応答を行いました
グループディスカッション、 個人面接 (2日目)	グループディスカッションは受験者全員で行い、参考資料を読んだ上で、「子どもの生活のあり方」について自由討論を行いました。個人面接は各自15分を目安に行いました。